

【節足動物】 エビやカニの仲間です。頭、胸、腹の3部、あるいは頭胸、腹の2部に分かれています。体の表面は硬い外骨格で覆われています。

サンカクフジツボ

【見られた地点：①・②・④】

殻は円錐形で殻口は三角形をしています。直径は1.5cm、高さは1.0cmくらいの小型種です。内湾から外洋に至る海岸の潮間帯下部から4000mを超す深海までの岩盤や転石下、ブイ等の浮遊物からアカフジツボや他のフジツボの上、二枚貝の殻上などに生息します。



アカフジツボ

【見られた地点：③・④】

殻は円錐形で殻口は広く、直径は3cm、高さは2cmくらいになる大型のフジツボです。色はピンクがかった赤色で稀に白色の個体もあります。内湾から外洋に至る潮間帯下部から潮下帯の岩盤上の他、ブイや護岸等人工構造物上にも生息します。



イッカククモガニ

【見られた地点：③・④】

甲長3cm。甲は灰色から黄褐色で、前後に長い2等辺三角形をしています。甲面は顆粒で覆われ、凸凹しており、額の中央に1本の棘が突出しています。北アメリカ太平洋岸原産の外来移入種で、1970年に東京湾で発見されました。有機汚濁の進んだ都市圏の港湾や内湾の砂泥底に多く生息しています。



イシガニ

【見られた地点：①・②・③・④】

東京湾から南に分布し、岩礁、干潟から水深30mくらいに生息しています。緑色だけでなく、紫がかった個体も見られます。甲幅8cm、各地で食用にされます。



【苔虫動物】 多くの種は海に生息し、群体を作ってさまざまな形になります。

裸喉綱 (らこうこう)

【見られた地点：①・②・③・④】

寒天質、クチクラ、石灰質などで出来た殻に虫体が収まって、大きさ1mmくらいのお小さな個虫になります。個虫は多数集まって、岩や他の生物などを覆ったり、縦に伸びたりしてさまざまな形をつくります。潮間帯下部から潮下帯に生息します。



【棘皮動物】 ヒトデ、ウニ、ナマコの仲間です。体は棘のある皮膚や殻で覆われています。

イトマキヒトデ

【見られた地点：①・②・③・④】

腕は短く先端はややとがり、五角形に近い星型をしています。大きさは輻長(ふくちょう：ヒトデの中心から腕の先までの長さ)で7~10cmくらい、内湾から外洋に至る潮間帯下部から水深300mくらいまでの岩盤上やその下面、転石下に生息します。

